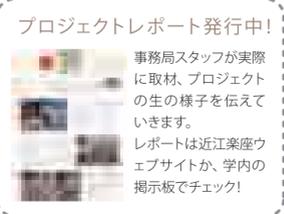


SCHEDULE 2014-2015

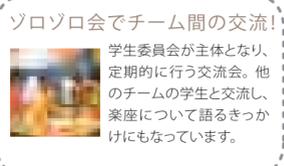
- 4月 / April**
新入生オリエンテーション (4/7)
2014年度プロジェクト学内公募 (4/10-5/7)
2013年度活動報告会 (4/19)
応募説明会 (4/14)
- 5月 / May**
2014年度近江楽座学生委員会活動開始
2014年度公開プレゼンテーション・審査会 (5/17)
2014年度プロジェクト審査結果発表会 (5/23)
活動説明会 (5/30)
- 6月 / June**
プロジェクト活動開始
第16回 湖風夏祭 (6/14)
- 7月 / July**
「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始 ※予定
交流会“ソロソロ会”開催 (7/11)
滋賀県立大学 オープンキャンパス 2014 (7/26-27)
- 8月 / August**
- 9月 / September**
交流会“ソロソロ会”開催 ※予定
- 10月 / October**
2014年度中間報告会 ※予定
- 11月 / November**
第20回 湖風祭 (11/8-9)
交流会“ソロソロ会”開催 ※予定
スキルアップセミナー ※予定
- 12月 / December**
交流会“ソロソロ会”開催 ※予定
- 1月 / January**
交流会“ソロソロ会”開催 ※予定
- 3月 / March**
活動実績報告
- 4月 / April**
2014年度活動報告会



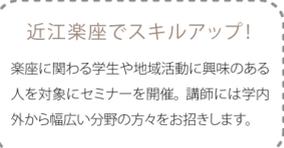
ウェブサイトの情報が充実!
近江楽座ウェブサイトは、各チームのブログと連動して更新。リアルタイムでの活動がわかります。



プロジェクトレポート発行中!
事務局スタッフが実際に取材、プロジェクトの生の様子を伝えていきます。レポートは近江楽座ウェブサイトが、学内の掲示板でチェック!



ソロソロ会でチーム間の交流!
学生委員会が主体となり、定期的に行う交流会。他のチームの学生と交流し、楽座について語るきっかけにもなっています。



近江楽座でスキルアップ!
楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。

PROFILE

近江楽座専門委員会

滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、地域共生センター運営委員会の一専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査・広報や学外交流などの議案を審議し、事業全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生主体の地域貢献活動をサポートしています。

近江楽座事務局

近江楽座専門委員会の実務を担い、プロジェクトの募集や活動助成、予算の執行管理、活動成果まとめ、報告会の企画・実施等を行うとともに、チームの活動に対する指導や助言を行っています。また、取材や視察、協力要請といった外部からの問い合わせ窓口や、活動紹介印刷物の発行やホームページの運営を行い、広報・発信面でのサポートを行っています。

「近江楽座」＝学生らしさを活かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

「近江楽座（おうみらくざ）」とは？

滋賀県立大学の“スチューデントファーム「近江楽座」-まち・むら・くらしふれあい工舎-”は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。平成16年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採択され、平成18年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取り組みとして、学内外で高く評価されました。そして、翌平成19年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かし、さらなる活動を展開しています。

教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局（地域共生センター）の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

- **活動助成システム**
“スチューデントファーム「近江楽座」”として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。
- **コンサルティングシステム**
教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。
- **地域「知」のリソースシステム**
大学と地域連携に係わる情報を他大学、研究機関、行政、NPO団体などと共有化・活用するためのデータベースを構築し、活動をサポートします。

プロジェクトタイプ

平成19年度より、「地域活性化への貢献」をテーマに学生主体の地域活動を行う「Aプロジェクト」に加え、新たに、自治体や企業等から提示された課題について、学生主体のプロジェクトチームを結成し活動する「Bプロジェクト」がスタートしました。

- **Aプロジェクト**
「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集します。昨年度までの継続活動を対象とした①「継続プロジェクト」、新規活動を対象とした②「新規プロジェクト」、さらに③「Sプロジェクト」として、これまでの実績をもとにステップアップを目指すプロジェクトで、活動資金の助成を必要としないプロジェクトの3つの区分で募集し、支援するプロジェクトを選定しています。
- **Bプロジェクト**
自治体や企業、団体等から依頼のあった課題について、「近江楽座」として取り組むテーマを設定し、学生主体のプロジェクトを募集します。学生チームにはテーマに対する企画提案を求め、選定されたチームは、指導教員と地域共生センターがフォローし、依頼先と共同で取り組みます。

- **Aプロジェクト**
「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動プロジェクト。
 - 継続プロジェクト
 - Sプロジェクト（平成23年度より開始）
活動資金の助成を必要とせず、これまでの実績をもとにステップアップを目指す取り組み
 - 新規プロジェクト

- **Bプロジェクト**
学生主体のチームが自治体や企業等から提示された課題に、プロポーザル方式で企画提案を行い、選定されたチームと依頼先とが共同で取り組むプロジェクト（平成19年度より開始）

MANAGEMENT CYCLE



公開プレゼン



交流会



中間報告会



成果発表会

— VOICE / 先輩の声 —



何のためにやっているのかを問い続けながら、楽しんで活動してほしい。

10年という月日を経て、近江楽座の活動もずいぶん認知され、地域にも受け入れられるようになってきている。活動する上で心がけていたのは、受身にならないこと。主体的に地域へアプローチしていく姿勢が大事。地域と関わり、求められていることと自分のやりたいと思えることのバランスをとるながら、活動を進めていく。そうして社会と関わっていく中で、大学生から社会人になるための一歩を歩みはじめるのである。

大学では同年代の人との関わりが多い中、近江楽座では先輩や後輩、地域の様々な年代の人と出会うことができる。そこで活動をしていく中で得られるのは、自分の考えや姿勢が変化したり、成長できるきっかけ。ただし、それを見つけて、つかむのは自分次第。何をどう見るか、自分の目で気づけるかどうか。近江楽座の環境を活かして、将来の自分に繋げていって欲しい。



近江楽座で「きっかけ」をつかんでほしい

盛 千嘉（明山寮 Ogama スタッフ）

竹岡 寛文（フリーランサー）

とよさと快蔵プロジェクト (2004-) C3(2004-2006) ちーむはっけい(2006) 近江楽座学生委員会(2006-2008) 古民人(2007)

エコキャンパスプロジェクト木楽部会 (2008-2010) 信・楽・人 -shigaraki field gallery project- (2010-2011)

近江楽座

まち・むら・くらしふれあい工舎

2014

学生も

大学も

地域も、

いっしょに育つ。



PROJECT CATALOG 2014

DATE

- チーム名 (参加人数)
- プロジェクトタイプ (発足年度)
- 主な活動場所
- 代表者名 (所属)
- 指導教員 (所属)
- 関連団体
- WEB

プロジェクト一覧

- 01 フラワーエネルギー「なの・わり」
- 02 内湖における侵略的外来種駆除
- 03 未来看護塾
- 04 町活 in 八幡
- 05 男鬼楽座
- 06 Taga-Town-Project
- 07 とよさらだプロジェクト
- 08 たのうらまちづくりプロジェクト
- 09 信・楽・人 -shigaraki field gallery project-
- 10 あかりんちゅ
- 11 木興プロジェクト
- 12 かみおかべ古民家活用計画 -SLEEPING BEAUTY-
- 13 地域博物館プロジェクト
- 14 政所茶レン茶ー
- 15 たけとも -竹の会所 友の会-
- 16 とよさと快蔵プロジェクト
- 17 障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト
- 18 おとくらプロジェクト

活動テーマ別

- 子ども・教育・発信
- 地域資源活用
- 交流・拠点・被災地支援
- 地域協働

01 フラワーエネルギー「なの・わり」



植物を使った資源循環型社会の形成

現在、エネルギーの枯渇や地球温暖化の進行が以前も増して顕著になっています。私たちは、菜種・ヒマワリの栽培を通じて、エネルギーの循環型社会の形成を目指し、植物の栽培、小学校での出前授業、イベント出展などを行っています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
基礎の栽培作業	基礎の栽培作業	ひまわり種まきイベント参加	小学校出前授業	ひまわり栽培作業	ひまわり栽培作業	高木地区説明会	高木地区説明会	高木地区説明会	高木地区説明会	高木地区説明会

2014.4 2015.3

02 内湖における侵略的外来種駆除



守ろう！琵琶湖の在来種！

ブラックバスやブルーギルをはじめとした侵略的外来生物は在来魚を捕食・駆逐して、日本固有の水辺の生態系や環境を壊しています。私たちは、内湖という特別な水辺環境を、在来種にとって住みやすい環境にしておくために、駆除や啓発活動を行っています。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来魚駆除約1大開催									

2014.4 2015.3

03 未来看護塾



子どもや高齢者、障がいの有無に関わらず、地域の方々を対象に心も体も健康になってもらえるような活動をしています。また様々な人とのふれあいの中でコミュニケーションや健康についての将来に必要な力を自然と身につけていきます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎の栽培作業											

2014.4 2015.3

04 町活 in 八幡



八幡にいらっしやい！

昨年度の三階蔵の公開イベントには県外からもたくさんの方に参加いただき、多くの方に三階蔵の存在を知ってもらうことができました。その一方で、地元の人参加は少なかった。「近江八幡の魅力」を地域の方にも再認識してほしい。その思いから、今年度は旧八幡町全体をフィールドとして活動を行い、近江八幡に訪れるすべての人々が近江八幡という町に愛情や誇りを持ってもらえるような価値やそのアイデンティティを見出し、活動の幅を広げることでより地域に貢献してまいります。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
町歩きイベント						

2014.4 2015.3

05 男鬼楽座



未来を紡ぐ、男鬼の茅葺き

男鬼（おどり）楽座は、滋賀県彦根市男鬼町を中心とした山間集落の可能性を探り、文化的景観の保存と活用を考えることを目的とする団体です。2007年から茅葺き屋根の補修・葺き替えに取り組んでいます。本年度は、男鬼での茅葺きイベントをつなぐとともに、湖北古民家再生ネットワークの城楽邸イベント「古民家再生塾」なども積極的に参加し、山間集落の再生の可能性を探ってまいります。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
茅葺きイベント						

2014.4 2015.3

06 Taga-Town-Project



多賀を好きになってもらおう！

多賀町の現状として、多賀の中でも中心的存在で、多賀大社の表参道として来れた総馬通りでも、現在では通る人が少なくなり、多賀の魅力を伝えることも難しくなっています。自分たちで情報発信をしたり、展示イベントを企画したり、学生目線で多賀の良さを発信してまいります。まちの活性化だけでなく、学生も多賀が好きになる活動です。今年度は新企画として商業散策路の地形地域資源を活かしたそうめん流しをします。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
そうめん流し計画											

2014.4 2015.3

07 とよさらだプロジェクト



野菜作りで地域貢献！

私たちとよさらだは、大田郡豊郷町で、農業従業者の高齢化・後継者不足が進み、耕作放棄された農地の一つであるビニールハウスと露地を借りて野菜作りを行っている団体です。私たちの活動の目的は大きく挙げて以下の三点です。一つ目に地産地消の促進や安心・安全である無農薬野菜の提供をすること。二つ目に野菜作りを体験したごとのない学生に機会を与えること。そして三つ目に、地域とのつながりを持つこととしています。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
野菜作りイベント						

2014.4 2015.3

08 たのうらまちづくりプロジェクト



復興まちづくりから継続的な交流活動

東日本大震災で津波に襲われ、今なお復興活動が続く宮城県南三陸町歌津田の浦にて、まちづくりをテーマとした地域復興・交流イベントの企画・運営を行っています。震災後薄れつつあった地域住民同士のつながりを生むことで復興支援やまちづくりの協力を増やすことを目指しています。昨年度は8月に海の運動会、12月にクリスマスイベント、3月にキャンパルナイトイベントを開催しました。2年目の活動となる今年度は、昨年度の反省を活かし、より良いイベントを作ることと新たなつながりを生み出したいです。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海の運動会開催						

2014.4 2015.3

09 信・楽・人 -shigaraki field gallery project-



信楽の隠れた良さを再発見！

植物のまち信楽で陶業を営む信楽の職人と共に活動を発信し、発信しています。信楽は焼物とアートが融合したまちで学生のアイデアや発見があふれてくる場所です。自分たちで情報発信をしたり、展示イベントを企画したり、学生目線で信楽の良さを発信してまいります。まちの活性化だけでなく、学生も信楽が好きになる活動です。今年度は新企画として商業散策路の地形地域資源を活かしたそうめん流しをします。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
そうめん流し計画											

2014.4 2015.3

10 あかりんちゅ



エコでスローな夜を

私たちあかりんちゅはお寺などから頂いた廃棄物やそくを使ってリサイクルキャンドル作り、地域でキャンドルナイト、キャンドルづくり教室、キャンドル販売を行っています。これらの活動を通じて環境負荷について考えるきっかけや、さらに人々が集う場を提供できればと考えています。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キャンドル作り						

2014.4 2015.3

11 木興プロジェクト



ものづくりによる震災復興支援

2011年3月11日に発生した東日本大震災を受けて、私たち建築学生有志は、被災地に対して、何か支援をすることができないかと考え、3年前「木興プロジェクト」を立ち上げました。建築を学ぶ学生として、何ができるのかを考えたときに、空間作りやハード作りをすることを考え、これまで木匠塾（建築・デザインを学ぶ学生のサマースクール）で培ったノウハウや関連団体とのネットワークを活かし、木造建築の設計・施工による復興支援が目的です。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
木造建築の設計						

2014.4 2015.3

12 かみおかべ古民家活用計画 -SLEEPING BEAUTY-



地域よし、学生よし、古民家よし

上岡部町にある古民家にて家の改修お楽しみイベントの開催、畑作りなどを通して、地域の方との交流を図っていく活動をしています。古民家改修では、家の造りを学びながら学生自らの手で改修を進め、イベントでは学生が発案・運営をして地域の方々と交流を深めています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
古民家改修											

2014.4 2015.3

13 地域博物館プロジェクト



文化財を教え！我ら学生学芸員！

私たち地域博物館プロジェクトの主な活動は、「地域文化財」を活用したいと思う住民の方々を、地域博物館づくりでお手伝いすることです。学生学芸員として、地域の方々の参加やイベント企画、蔵を改修した Bar 運営などの活動も行い、町を盛り上げるまちの人をサポートしてまいります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学芸員養成講座											

2014.4 2015.3

14 政所茶レン茶ー



政所茶に想いを寄せて…

私たち茶レン茶ー（チャレンジャー）は茶の産地、政所（まんどころ）の専属ボランティアとして10年以上活動を継続している団体です。Harmony はボランティアに所属する自閉症やダウン症など他人とのコミュニケーションに困難が生じる障がい児・者とともに活動を行っています。定例活動では、散歩、油絵、ねんど、茶道体験を行い、そのほかには、お泊り体験、カヌー体験、製茶体験、クリスマスコンサートといった様々な活動を行っています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
お泊り体験											

2014.4 2015.3

15 たけとも -竹の会所 友の会-



たけともと一緒に…

宮城県気仙沼市に、復興の拠点となる場所を作りたい。滋賀県立大学陶器造り研究室が中心となって始まった「竹の会所」プロジェクトです。そして竹の会所の今後を支えていく友の会、それがたけともです。現在では滋賀県南南市で、竹林保全のための、Bamboo House プロジェクトも行っていきます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
竹林保全活動											

2014.4 2015.3

16 とよさと快蔵プロジェクト



空き古民家活用で豊郷町のまちづくり

近江商人の町である豊郷町には空き家となった民家や蔵が点在しています。とよさと快蔵プロジェクトはこうした町の資産に着目して、学生なりの発想で活用し、地域を盛り上げる活動を行っています。改修だけでなく、まちづくりのイベントへの参加やイベント企画、蔵を改修した Bar 運営などの活動も行い、町を盛り上げるまちの人をサポートしてまいります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
空き家活用											

2014.4 2015.3

17 障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト



障がい児・者と、自立支援・共生社会

私たち Harmony は「NPO 法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー」の専属ボランティアとして10年以上活動を継続している団体です。Harmony はボランティアに所属する自閉症やダウン症など他人とのコミュニケーションに困難が生じる障がい児・者とともに活動を行っています。定例活動では、散歩、油絵、ねんど、茶道体験を行い、そのほかには、お泊り体験、カヌー体験、製茶体験、クリスマスコンサートといった様々な活動を行っています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
お泊り体験											

2014.4 2015.3

18 おとくらプロジェクト



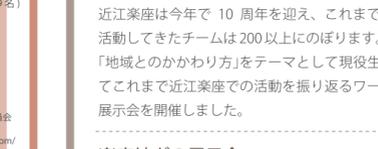
歴史ある高宮に新たな風を

築200年を超える古民家と蔵が、学生の手によって、喫茶、ギャラリー、イベントスペースに生まれ変わりました。おとくらプロジェクトは歴史ある町「高宮」を地域の方と協力して今まで以上に元気にすることを目的に活動しています。大学生が主体となって習得している活気あふれるコミュニケーションベース、それが喫茶とおとくらです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
喫茶・ギャラリー											

2014.4 2015.3

近江楽座 10周年記念イベント



近江楽座は今年で10周年を迎え、これまでに地域に活動してきたチームは200以上にのぼります。これを期に、「地域とのかかわり方」をテーマとして現役生・先輩を交えてこれまで近江楽座での活動を振り返るワークショップと展示会を開催しました。

楽座紡ぎの展示会

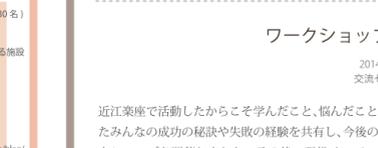
2014年2月18日(火)～24日(月)
交流センターホワイエにて

これまで活動してきた楽座団体が作成したパネルや楽座新聞の展示を行い、10年の軌跡を辿りました。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
展示会開催											

2014.4 2015.3

ワークショップ&交流会



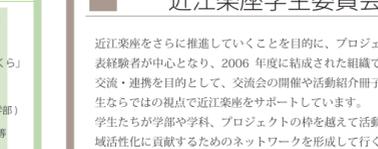
2014年2月22日(土)
交流センター 研修室にて

近江楽座で活動したからこそ学んだこと、悩んだこと。10年間で培ったみんなの成功の秘訣や失敗の経験を共有し、今後の活動へ続くワークショップを開催しました。その後、現役メンバーと先輩のつながりの場を設ける交流会を開催し、楽座のつながりを一層強めました。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
交流会開催											

2014.4 2015.3

近江楽座学生委員会



近江楽座をさらに推進していくことを目的に、プロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を越えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを形成して行くことを目指しています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学生委員会											

2014.4 2015.3



近江楽座キャラクター メイメイ